（様式１）

自　己　評　価　票

作成日　　平成　22年7月30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0803008527		
法 人 名	池田観光開発株式会社		
事業所名	グループホーム鶴沼の里（1）	ユニット名	C棟
所 在 地	〒　300－0012 土浦市神立東2丁目21-22		
自己評価作成日	平成22年7月30日	評価結果 市町村受理日	平成　　年　　月　　日

※　事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所 在 地	〒310－8586 水戸市千波町１９１８番地　　茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成　22年　9　月　8　日	評価確定日	平成　　年　　月　　日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

①近くに鶴沼があり、遊歩道を散歩でき、自然と触れ合うことができる。②自立支援と明るく家庭的な介護。③無農薬の吟味された食材。④自宅の延長のようなゆったりとした当り前の生活。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
	Ⅰ	理念に基づく運営	
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	棟入口及び事務所他に理念を掲示。しかしながら、職員全員が理念の理解実践に至るには、少々時間が必要。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域及び小学校の運動会への参加又、ホームの行事の際には、地域のボランティアの方の参加を頂き、交流を行っている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現時点では、ホームからの発信はないが、今後ホームの新聞等により、進めて行く方向である。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議も定着しており、会議により、発掘された問題点がサービス向上に大きく寄与している。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者が主に連携をとり、協力関係が築かれている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	状態により、身体拘束が必要となる利用者に対しては、最小限の対応をとらせて頂いているが、家族には説明後、書類により承認を頂いている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	カンファレンス等開催時、虐待について話し合いをする機会を持って防止に努めている。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要とするご家族は、現時点ではないが、活用できる様準備に努めている。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約については、本社が行っており、直接的な関与はない。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付箱、又、面会票に要望等記入欄を設け、改善に役立てている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送り時、カンファレンス時には、時々提案、改善を受け入れている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職務に対して、向上心を持てるように、過去のケース等を話題とし、話し合う機会をできるだけ作り進める様に努めている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	公開講座、研修等の①受講を勧めているが、個人の休日利用による参加のため、思うように進んでいない。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者出席の交流により、ホームへ他の種々の情報等を持ち帰り、活用している。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	モニタリング等を参考とし、話し合う機会を多くとり、努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	日々のバイタル等データを提示したり、症状を報告、又家族より改めて要望をお聞きしている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時、本人、家族の要望が同じであるか見極めをし、相違ある時は、以降それが同一方向になるよう（特に家族へ）対応に努めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食器拭き、洗濯物干し等一緒に行ない、暮しを共にする者同士の関係を築いている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族への電話、家族からの手紙等家族を常に身近に感じるようにしている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの床屋さんへ行って散髪をする等関係継続を行っている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	「頂きます」のかけ声等の系として当番制を又連携性のあるレクリエーションを取り入れている。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現時点では、ホームからの発信はないが、今後ホームの新聞等により、進めて行く方向である。行なっていない。
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人でいる時間が欲しい入居者にたいしては可能な限り希望に合わせる等行なっている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	おやつの時間等に、今までの仕事等について、お聞きしている。但し、深部については行わない。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルサイン、又、いつもと違う行動等に配慮。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	申し送り時、カンファレンス等にケアに対して多くの意見が出る様に進め、又その意見に対し、皆んなで話し合いをとりいれる予定。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	バイタルサイン、排便状況、ケース記録等のデータを基にその人のケアの見直しを実施。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ホームにおいて対応できる支援等については、対応を行っている。又、ニーズによっては行政のアドバイス及び指導により行なってる。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	納涼祭等の行事については、社協又、バーベキュー大会等については地域の方々の支援を受けて実施。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	緊急時を含め、その人に合った受診先体系が受診記録ノートにより記録されており、それを参考にし支援。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師ラウンドの際、相談、アドバイス等を受け受診を行なっている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、介護サマリー又、退院時には看護サマリーの提出を行なっている。又、入院中には、様子を伺い、病院との関係を作っている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の意向に沿った介護を行なうと共に、文書により確定。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	現時点では、不定期ではあるが、消防署の指導により、救命訓練等の研修を実施。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼間、夜間時の火災発生を想定した訓練を定期的に実施。但し、地域との協力体制についてはまだ準備段階である。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ全員に対し、赤ちゃん言葉等の使用禁止を徹底。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その人により、自己表現に差はあるのでその人に合った方法により対応。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人に合ったペースを取り入れたスケジュールを実施。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節等に合った服又、気分に合った服の着用を進めている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの芽取りや食後の食器拭き等手伝って頂いている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のメニュー、食事・水分の摂取量管理を行ない支援。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、入眠前の義歯の清掃の徹底。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自力による排泄を基本としているが、排泄の失敗による落ち込みを減らすため、トイレ介助を行なっている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便管理データを基に食生活、服薬、生活スタイルの見直しを行なっている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	バイタル及びバイタルサイン等を基本とし、入浴を施行。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食事、オヤツ、ラジオ体操等を取り入れたスケジュールを基本としているが、その人の生活スタイルをより多く取り入れている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬の効能を書きについては、個人ファイルで管理。スタッフ全員が薬についての理解する機会を多く持つよう進めている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴の中で特徴のあるものについては、できるだけ活かして頂く方向へ進めている。それらを含め、気分転換を図っている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調、気温等を考慮し、戸外に出る機会を作っている。又、家族への働きかけを行い外出をして頂ける様進めている。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人持ちは、家族からの希望であれば、少額であれば、行なっているが、基本的には預かり金としている。本人の申し出や働きかけにより、使えるよう支援。
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	あまり連絡のない家族には、家族へ手紙を出して頂きたい旨お願いしている。入居者に対しては、電話を進めている。
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	定期的な清掃、照明、湿度の管理の徹底。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでのテーブルの座席はできるだけ皆さんがお互いに顔をみられるよう円形に努めている。ゆっくりしたい時等は後方のソファーを利用。
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族の希望により室内レイアウトは行なっているが、転倒等の危険もあるので相談の上協力を頂いている。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒防止を最大とし、入浴、トイレ、起床、着替え等の介助を実施。

	Ⅴ　アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：23,24,25）	○	1,ほぼ全ての利用者の
			2,利用者の2/3くらいの
			3,利用者の1/3くらいの
			4,ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：18,38）		1,毎日ある
		○	2,数日に１回程度ある
			3,たまにある
			4,ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：38）	○	1,ほぼ全ての利用者が
			2,利用者の2/3くらいが
			3,利用者の1/3くらいが
			4,ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1,ほぼ全ての利用者が
			2,利用者の2/3くらいが
			3,利用者の1/3くらいが
			4,ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1,ほぼ全ての利用者が
			2,利用者の2/3くらいが
			3,利用者の1/3くらいが
			4,ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 （参考項目：30,31）	○	1,ほぼ全ての利用者が
			2,利用者の2/3くらいが
			3,利用者の1/3くらいが
			4,ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 （参考項目：28）		1,ほぼ全ての利用者が
		○	2,利用者の2/3くらいが
			3,利用者の1/3くらいが
			4,ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 （参考項目：9,10,19）		1,ほぼ全ての家族と
		○	2,家族の2/3くらいと
			3,家族の1/3くらいと
			4,ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：9,10,19）		1,ほぼ毎日のように
			2,数日に１回程度ある
		○	3,たまに
			4,ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）		1,大いに増えている
		○	2,少しずつ増えている
			3,あまり増えていない
			4,全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 （参考項目：11,12）	○	1,ほぼ全ての職員が
			2,職員の2/3くらいが
			3,職員の1/3くらいが
			4,ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1,ほぼ全ての利用者が
		○	2,利用者の2/3くらいが
			3,利用者の1/3くらいが
			4,ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1,ほぼ全ての家族等が
		○	2,家族等の2/3くらいが
			3,家族等の1/3くらいが
			4,ほとんどいない